

平成22年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その1)

施策体系コード	1-2-3	2-1-3	事業名	わたしたちの児童会館づくり事業
担当	子ども未来局子ども育成部子ども企画課 岡本 TEL 211-2982			
全 体 計 画				
事業内容	子どもたちが児童会館の運営等に主体的・積極的に関わり、参加できる仕組みづくりを通じて、子どもたちが社会の一員として意見を表明できる機会を増やしていくとともに、地域への愛着や地域づくりに対する関心を育む。 ①各児童会館及びミニ児童会館において「子ども運営委員会」を設置し、児童会館の運営等に関わる機会をつくり、また、子どもたちの意見や要望を成果として具現化できるよう活動資金の支援を行う。 ②北郷児童会館の改築に係る「子ども検討委員会」を設置し、児童会館施設の内容に子どもたちの意見を反映させる。 【対象】全児童会館・ミニ児童会館		＜年度別の事業内容＞	
			<p>・平成19年度 子ども運営委員会 新規48館(計60館)に設置 北郷児童会館改築子ども検討委員会設置</p> <p>・平成20年度 子ども運営委員会 全館に設置(新規95館、計155館)</p> <p>・平成21年度 子ども運営委員会 全館に設置 (仮称)子どもサミットを開催</p> <p>・平成22年度 子ども運営委員会 全館に設置</p>	
事業内容	平成19年度事業内容(決算)		平成20年度事業内容(決算)	
	<p>①子ども運営委員会 「子ども運営委員会」を60館で実施(新規48館)し、行事の企画や事前準備、日常活動に関わるルールについて検討するなど、会館事業への参画によって、児童会館を利用するだけでなく、みんなで『自分たちの居場所』や『まちづくり』について考える機会となった。 【活動促進支援事業】9事業 豊平Ⅱブロック:各児童会館の運営委員が集まり1年間の活動報告をしたほか、交流事業やあそびのコーナーを企画・運営 二十四軒児童会館:運営委員会がアンケート調査をし、図書や遊具の選定、購入、環境整備したほか、保育園に読み聞かせを実施 その他:運営委員会設立記念事業、地域連携行事企画・運営 ②北郷児童会館の改築に係る子ども検討委員会 児童会館施設の内容に子どもたちの意見を反映させる。 【活動内容】構成メンバーを小学4年生から高校2年生を対象に公募し、概要学習や会館探検のほか、実際の利用者へのインタビューや交流を通じ、『わたしたちの児童会館づくり』について話し合う。【開催日時等】第1回～第3回委員会:7月22日、8月5日、9月2日(北郷児童会館)提案発表:9月7日(北郷小学校) 【子ども検討委員】15名(小学生8人、中学生7人)</p>		<p>①子ども運営委員会 子ども運営委員会を全館(新規95館、計155館)にて設置し、日常活動に関するだけでなく、行事の企画や準備、当日の運営のほか、地域との連携事業や他館との交流を通じ、皆で『自分たちの居場所』や『まちづくり』について考える機会となった。 【活動促進支援事業】5事業 西Ⅰブロック:自分たちが住んでいる地域をリサーチしながら企画・準備を進め、各会館で放送局や写真屋等を来店する体験型お店屋さんごっこ「ミニシティ」を実施した。 豊平Ⅱブロック:各館の子ども運営委員会活動についての情報交換と近隣児童会館との交流、1泊2日のリーダー宿泊研修や活動報告会、「豊平子どもサミット」を実施した。 その他:地域との連携行事での看板製作や当日の運営、子ども運営委員会の活動記録誌製作 ②北郷児童会館の改築について 北郷児童会館の各部屋や設備などの仕様について、「子ども検討委員会」や「子ども運営委員会」の意見を取り入れた。また、3月7日には開設前の工事現場見学会に参加し、自分たちのアイディアが取り入れられた新児童会館を見学した後、利用の仕方等について話し合った。</p>	
事業内容	平成21年度事業内容(決算)		平成22年度事業内容(予算)	
	<p>■子ども運営委員会 子ども運営委員会を全館(新規4館、計159館)にて設置し、自分たちの意見を日常活動及び行事等に反映するほか、平成21年度においては、これまでの活動の集大成として、7月11日(土)にすべての児童会館及びミニ児童会館の子ども運営委員会が参加する「札幌市児童会館子どもサミット」を実施した。 このサミットでは、日頃の各子ども運営委員会の活動内容等について、「報告会」、「あそびの展示」及び「分科会」の3部門に分かれて、活動報告や情報交換など、積極的かつ有効に行うことができた。これは、「子どもの最善の利益を実現するための権利条例」の第4章、第4節にある「参加・意見表明の機会の保障」を実践する例となった。 【活動促進支援事業】6事業 ①「レッツチャレンジ」(山鼻) 日常の遊びにおいて、誰もが簡単にチャレンジできる内容を企画する。 ②「とよひらっ子フェスティバル2009」(豊平Ⅰブロック) 「こどもたちの・こどもたちによる・こどもたちのための」お祭りとして実施。地域の幼児から大人まで、広い世代での来場があった。 ③「ポップ・ステップ・キャンプin道民の森」(天神山・平岸) 札幌大学の協力のもと、学生ボランティアが活動をサポートすることで、より子どもたちが主体のキャンプを企画することができた。 ●その他、地域のお祭りなど3事業を実施した。</p>		<p>■子ども運営委員会 子ども運営委員会を新設のミニ児童会館5館にも設置(計164館)し、子どもたちが児童会館の運営等に、自分たちの意見を反映できる仕組みを通じて、主体的に関わることができるような環境づくりを行う。 また、引き続き、各子ども運営委員会の事業内容や事業実施後の効果等について、活動報告や意見交換会により情報共有を図ることで、できるだけ多くの子どもたちが参画できる事業につなげるとともに、子どもたちの児童会館への愛着や、まちづくり及び環境保護など市政に対する関心を深めることに期待する。 【活動促進支援事業】 各子ども運営委員会において計画された事業のうち、特に他の子ども運営委員会の取組みにおいて参考となる事業や先駆的な事業において、予算を確保することにより、より有効な手法で実施することが期待できる事業を、「活動促進支援事業」として位置づけ、運営の支援を行っている。 当該事業は、企画、準備、実施及び振り返りを通じて、子どもたちが責任感や積極性、協調性を身につけ、自ら社会の一員として実感できる内容を目指す。また、地域や家庭との連携や他ブロックとの情報交換を活発化させる。</p>	
事業内容	規 模			
事業内容	件 数			
事業内容	等			

平成22年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その2)

施策体系コード	1-2-3	2-1-3		事業名	わたしたちの児童会館づくり事業		
達成目標の状況							
項目	18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (実績)	21年度末 (実績)	22年度末 (予定)	22年度末 (目標)	
子ども運営委員会設置数(累計)	12館	60館	全館 (155館)	全館 (159館)	全館 (164館)	児童会館、ミニ児童会館 全館	
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
<p>■市民との連携、市民参加 子ども運営委員会において、児童会館利用者からの意見・要望を集約して、児童会館の運営等に反映させている。また、子ども運営委員が企画した事業への参加について、保護者や地域の方々にも呼びかけを行っている。</p> <p>■企業等との連携・協働 [資金協力] (該当なし) [人材協力] (該当なし) [情報協力] (該当なし) [その他の協力] 子どもたちが事業の事前準備のため、地域の店や企業を調査に行った際の取材協力等</p> <p>■市民・企業等が参加しやすい環境づくり 子どもたちの活動状況や事業に関する情報を、地域全体に広く発信すると共に、地域を取り込んだ事業に発展させるなど、多くの市民や企業が参加しやすい環境づくりに努めている。</p>							
評価(成果)			課題				
<p>児童会館の行事をはじめ、児童会館の運営に子どもの意見が反映されることにより、子どもたち自身が一層責任感や主体性を持って活動できる児童会館が実現できた。</p> <p>さらに、平成21年度は「札幌市児童会館子どもサミット」の開催などにおいて、「子どもの最善の利益を実現するための権利条例」にある「参加・意見表明の機会の保障」を具体的に実践するなど、札幌市と運営を受託する財団法人が連携し、子どもが主体となる新たな活動の場を設けることができた。</p> <p>また、子どもたちが地域の事業を企画したり、地域行事へ参加することについては、将来の札幌市を担う子どもたちの一層の輝きを、多くの市民と共感することのできる機会になったとも考えており、子どもたち及び札幌市の将来に、多くの期待がもてる事業を提供することができた。</p>			<p>事業を受託している財団法人の創意工夫により、子どもたちが単に児童会館の行事等に参加するだけでなく、企画から事業実施までの過程において、連帯感、責任感、達成感及び成果を実感できる内容となった。</p> <p>今後は、子ども運営委員会の構成メンバー以外の子どもたちに対しても有効な事業となるよう、札幌市及び財団法人が連携して、更なる研究を行う必要がある。</p> <p>また、事業を実施する上で、財団法人の職員がどのように子どもたちに対し動機づけを行い、活動のサポートを行っていくことが有効であるかを検討する必要がある。</p>				
今後の事業の予定・方向							
<p>今後も、すべての児童会館・ミニ児童会館に「子ども運営委員会」が設置され、子どもたちが児童会館の運営等に、自分たちの意見を反映できる仕組みを通じて、主体的に関わることができるような環境づくりを、札幌市と財団法人が連携して見守っていくことが必要である。</p> <p>更には、子どもの活動内容を保護者や地域の方々など、より多くの市民とともに見守ることができる機会の提供を検討することも必要である。</p> <p>また、アンケートなどを通じて、子どもたちが事業に参加したことによる効果についても、引き続き検証を進めていく。</p>							

平成22年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その3) (単位:千円)

施策体系コード		1-2-3	2-1-3	事業名	わたしたちの児童会館づくり事業		
事業費の推移							
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計	
計画	事業費	1,000	1,000	1,000	1,000	4,000	
	財源内訳						
	国・道支出金	0	0	0	0	0	
	市の債	0	0	0	0	0	
	その他の	0	0	0	0	0	
一般財源	1,000	1,000	1,000	1,000	4,000		
予算	事業費	1,000	1,000	1,000	1,000	4,000	
	財源内訳						
	国・道支出金	0	0	0	0	0	
	市の債	0	0	0	0	0	
	その他の	0	0	0	0	0	
一般財源	1,000	1,000	1,000	1,000	4,000		
実績	事業費	1,001	1,000	1,000	-	3,001	
	財源内訳						
	国・道支出金	0	0	0		0	
	市の債	0	0	0		0	
	その他の	0	0	0		0	
一般財源	1,001	1,000	1,000		3,001		
事業費の進捗率		(H19実績+H20実績+H21実績+H22予算事業費) / (計画事業費)				100.0%	
計画との差異(予算・実績・事業内容・規模・時期等)							
《全体》							
[19年度]							
[20年度]							
[21年度]							
[22年度]							